

**平成19年度 出雲市地域新エネルギービジョン策定等事業
出雲市次世代エネルギーパーク整備計画**

概 要 版

平成20年(2008)2月

島 根 県 出 雲 市

I. 出雲市次世代エネルギーパーク整備計画の目的等

1. 整備計画の目的

地球温暖化の進行、原油価格の高騰等、環境やエネルギーを取り巻く情勢は厳しさを増しており、化石燃料に依存しない地球に優しいエネルギーの活用、エネルギーの安定的な確保が重要な課題となっています。

このような状況のもと、本市では、新エネルギーに関する施設等を実際に市民や本市を訪れる人々が見て触れる機会を通じて、今後のエネルギーのあり方について知識を得て、理解を深めるため、市内の既存の新エネルギー製造設備と学習機能や情報発信機能を有した施設を連携させ、市域全体を、新エネルギーをテーマとした「出雲市次世代エネルギーパーク」を整備する計画を策定することとしました。

地域特性を活かした「出雲市次世代エネルギーパーク」の整備により、環境保全への取組みが進展するとともに、経済や産業の振興にもつながることが期待されます。

2. 策定の背景

(1) 次世代エネルギーパーク構想に関する我が国の方針

経済産業省は、平成18年に公表した「新・国家エネルギー戦略」の中で、『技術力を磨き新たな産業として自立させるための支援策を提示し、新エネルギーなどを見て触れて理解できる、「次世代エネルギーパーク」の形成の促進、革新的なエネルギー技術の開発などの具体策に取り組む』としています。次世代エネルギーパークは、この考えのもとに整備を進めます。

(2) 次世代エネルギーパークの考え方

経済産業省は、次世代エネルギーパークを、小学生から高齢者まで国民各層が新エネルギーを中心に我が国のエネルギー問題への理解の増進を深めることを通じて、エネルギー政策の推進に寄与することを期待するものとし、以下の項目を満たすことを条件としています。

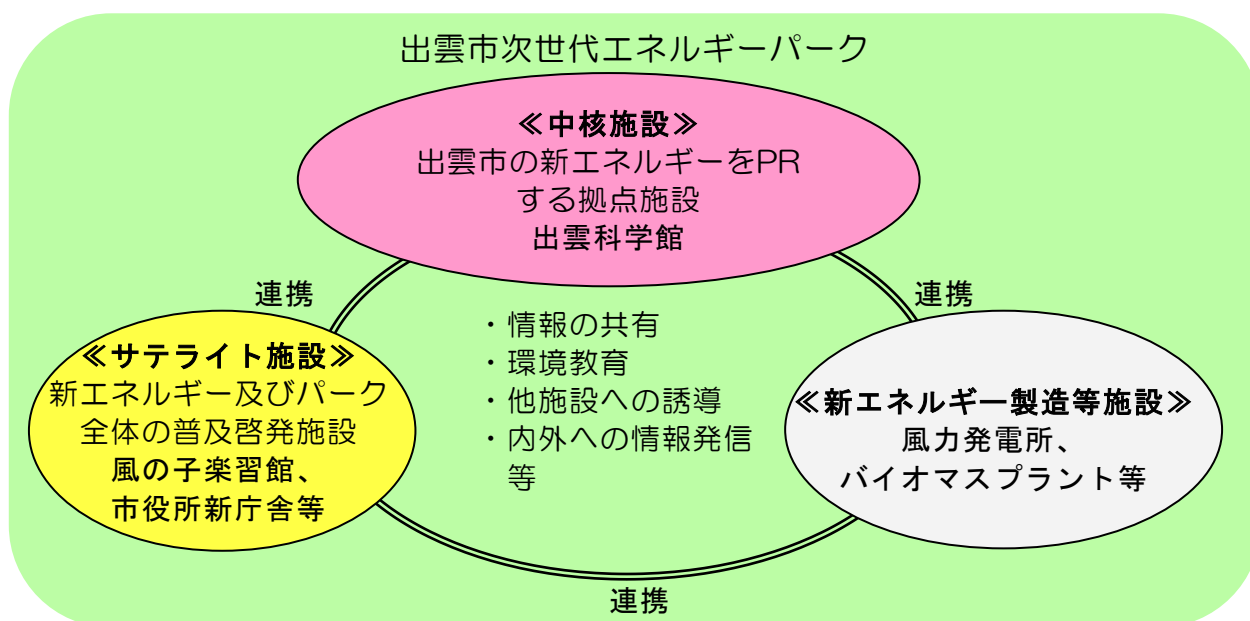
- ・運営主体は自治体又は第3セクターなど、自治体が主体的に取り組んでいること。
- ・維持費等の確保の見通しが立っており、運営主体による安定した運営・管理が見込まれること。
- ・多くの人々が訪れるよう、ハードやソフト面において、地元自治体や市民、地元企業等による地域の特色を生かした創意工夫がみられること。
- ・新エネルギー設備で得たエネルギーが周辺地区等において使用されること。
- ・原則として複数の種類の新エネルギー設備の見学が可能であること。
- ・既存の新エネルギー設備や関連施設がある場合は、これを最大限活用すること。

II. 出雲市次世代エネルギーパーク整備計画のイメージ

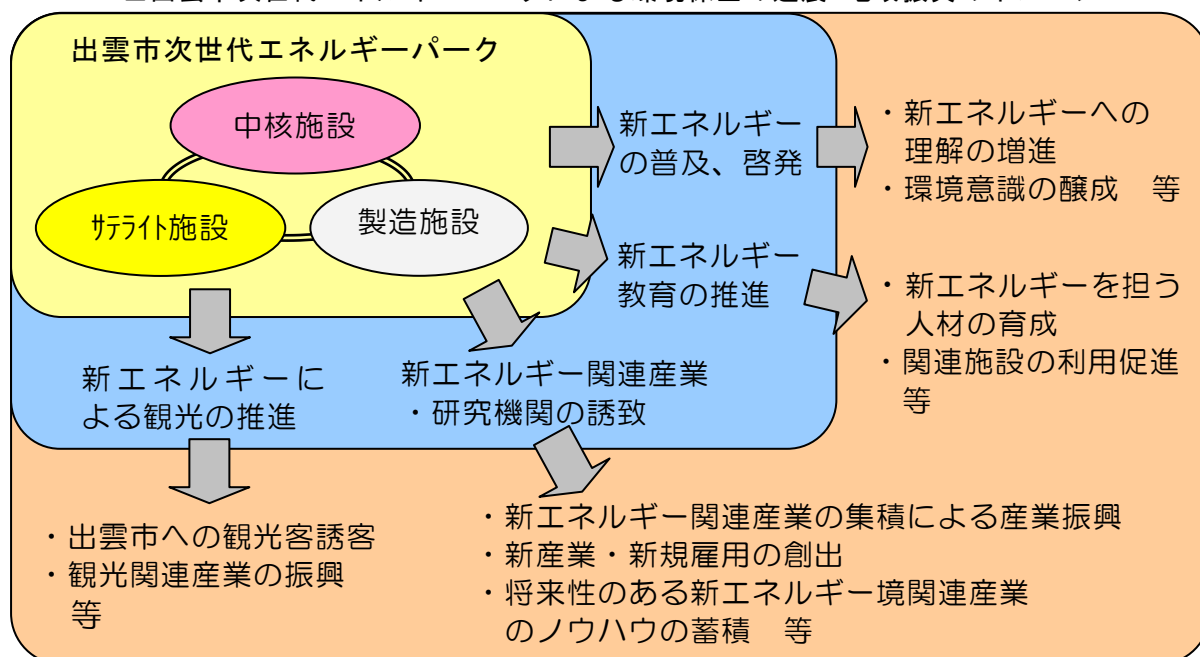
本市で計画する次世代エネルギーパークは、市全域をフィールドとし、中核施設として設定する出雲科学館を中心に、既存施設や整備が計画されている施設等によって構成されるサテライト施設、新エネルギー製造等施設を情報やネットワークにより連携させ、見て、触れることによって新エネルギーに関する学習や普及啓発を進めます。

そして、次世代エネルギーパークによる、市民や来訪者の環境意識の醸成や環境活動の推進、新エネルギー関連産業観光による観光関連産業の振興、関連企業や研究開発機関の誘致・集積による産業振興を図ります。

■出雲市次世代エネルギーパーク整備計画の概念図



■出雲市次世代エネルギーパークによる環境保全の進展・地域振興のイメージ



Ⅲ. 全体構想

1. コンセプト

(1) 出雲の文化、歴史、自然と融合した新エネルギーパークの整備

出雲市次世代エネルギーパークは、単に新エネルギーの導入によって環境を保全するといったものではなく、出雲の人々の営みを育んできた文化や歴史、自然を守り、後世に伝えることを目的として整備を進めます。

新エネルギーの導入や普及啓発を次世代エネルギーパークの整備という具体的な形で進めることで、環境保全へ寄与するとともに、「環境に優しい出雲」を本市の新しい文化や歴史として定着させることを目指します。

(2) 新エネルギーに特化した学習による普及啓発の推進

出雲科学館等の既存の施設や新規に整備を計画している新エネルギー公園等を拠点として、市民や市外から訪れる方々が新エネルギー設備を見て、触れてもらうことで、その導入の重要性や効果、自分達にできる行動等について知識を得られる機会をつくり、新エネルギー導入の推進や環境保全活動の拡大を図ります。

また、市内小中学校の児童・生徒に対する新エネルギー学習について、教育委員会や学校と連携した取組みを進め、新エネルギーの普及啓発を進めるとともに、新エネルギーや環境保全に取り組む人材の育成を図ります。

(3) 環境と観光の融合

本市では、市民それぞれが自分達にできる新エネルギー導入や環境保全活動を進めており、新エネルギー及び環境保全における先進地として評価されています。

本市の取組みを出雲市次世代エネルギーパークとして改めて連携・発信することで、全国の自治体、省庁関係者、企業、教育関係者等の来訪を促します。

さらに、新エネルギーに関する施設と観光地や施設とを結ぶルートの設定、宿泊や飲食とからめた観光商品の開発等により、次世代エネルギーパークをテーマとした産業観光による誘客を進め、地域への経済や産業の振興に寄与できる取組みを進めます。

(4) 出雲の豊かな自然環境を利用した企業立地・企業誘致の推進

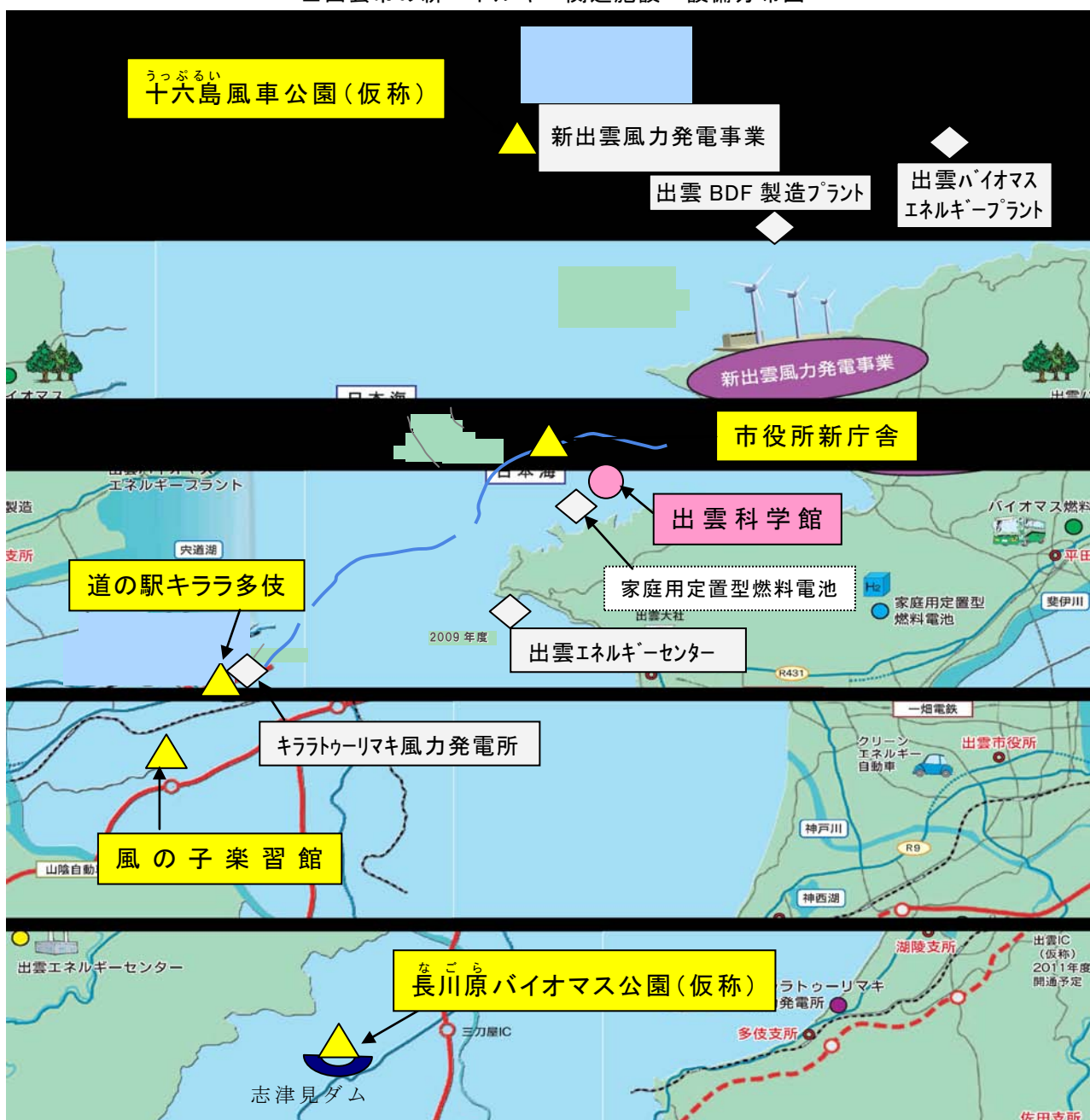
新エネルギーは、地域の特性を活かし、化石由来燃料に依存しない新しいエネルギーを創造しようとするものです。これからは、工業団地等への企業誘致とともに、次世代エネルギーパークの整備をきっかけとして、本市の豊かな自然を活かした新エネルギーに関する産業や研究機関等の誘致を進めます。

本市に事業所や研究機関を有することが企業の価値を高めるよう、新エネルギーへの取組みを進めるとともに、内外へ積極的にPRしていきます。

2. 次世代エネルギーパークを構成する施設

出雲市次世代エネルギーパーク整備計画では、今後整備する新エネルギーの学習、展示機能をもたせた中核施設及び学習や展示機能をもつサテライト施設、並びに既存の新エネルギー製造等施設を連携させ、市全域での次世代エネルギーパークの構築を目指します。

■出雲市の新エネルギー関連施設・設備分布図



- 中核施設（新エネルギーをPRする拠点施設）
- ▲ サテライト施設（中核施設と連携して、新エネルギーをPRする普及啓発施設）
- ◇ 新エネルギー製造等施設（新エネルギーを製造等する施設・設備）

3. 各施設の位置づけ及び整備計画

(1) 中核施設の機能

施設名	整備計画
①出雲科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・施設内の新エネルギー量の掲示 ・新エネルギー設備によるCO₂排出抑制相当量の掲示 ・新エネルギー、環境保全に関する資料の展示
【位置づけ】 新エネルギー学習拠点	

(2) サテライト施設の機能

施設名	整備計画
①十六島風車公園（仮称）	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電設備（3,000kW） ・新エネルギー学習室 ・小型風車 ・電光掲示板（発電量、CO₂排出抑制相当量等） ・掲示板 ・トイレ、駐車場等
【位置づけ】 主に風力発電の新エネルギー学習施設	
②長川原バイオマス公園（仮称）	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスエネルギー利用設備 ・太陽光発電 ・マイクロ水力発電 ・電光掲示板（発電量、CO₂排出抑制相当量等） ・学習、展示棟 ・トイレ、駐車場 ・その他公園機能
【位置づけ】 ・主にバイオマスエネルギーの学習施設 ・南方面からの来訪者を迎える新たな観光スポット	
③風の子楽習館	<ul style="list-style-type: none"> ・35kWの風車2基 ・太陽光発電 ・次世代エネルギーパークマップ ・新エネルギー発電量の掲示 ・新エネルギー設備によるCO₂排出抑制相当量の掲示 ・新エネルギーや環境保全の資料
【位置づけ】 新エネルギー学習拠点	
④道の駅キララ多伎	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・隣接するキララトゥーリマキ風力発電所の紹介
【位置づけ】 西方面からの来訪者の玄関口	
⑤出雲市役所新庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 ・次世代エネルギーパークマップ ・市内の新エネルギーへの取り組みの紹介 ・出雲市のエネルギー消費量、CO₂排出量とその影響等紹介コーナー
【位置づけ】 市民に対する次世代エネルギーパークのPR拠点	

(3) 新エネルギー製造施設の機能

施設名	整備計画
①新出雲風力発電事業	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・施設の概要の掲示
【位置づけ】 全国最大規模の風力エネルギーの活用施設	
②出雲バイオマスエネルギープラント	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・プラントの仕組み解説の掲示 ・実証試験の意義、効果の掲示 等
【位置づけ】 次世代エネルギーの開発研究施設	
③廃食油によるBDF製造施設	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・取り組み解説の掲示
【位置づけ】 市民活動による新エネルギーの利用	
④出雲エネルギーセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・施設の概要の掲示 ・発電量等の掲示
【位置づけ】 廃棄物のエネルギー利用施設	
⑤キララトゥーリマキ風力発電所	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代エネルギーパークマップ ・キララトゥーリマキ風力発電所の概要の掲示 ・発電量等の掲示
【位置づけ】 身近な風力エネルギーの活用施設	

4. 情報によるネットワークの構築

各施設における以下のような情報端末や看板等の設置により、次世代エネルギーパークの情報を提供し、他施設への誘導を図ります。

- ・ 出雲市次世代エネルギーパークマップの掲示
- ・ 情報端末による詳細情報の提供
- ・ QRコードによる各施設の詳細な情報の提供
- ・ パンフレット

5. 受入れ体制の整備

(1) 受入れ態勢について

- ① 情報端末等を用いた各施設での共通した情報の提供による解説、誘導
- ② 中核施設である出雲科学館での職員による次世代エネルギーパークの概要説明、各施設への誘導
- ③ 解説希望者・視察者への施設職員、NPO 法人職員等による対応、将来的なボランティアガイドの育成

(2) 新エネルギー施設の周遊による産業観光の実現

産業観光という視点から、各施設や既存の観光拠点を中心とした周遊ルートを本市の新たな観光商品として開発し、地域の産業振興、地域振興に結びつけます。

IV. 構想の実現に向けて

1. 推進体制

(1) 各施設の運営

出雲市次世代エネルギーパーク推進協議会（仮称）を設置し、各施設管理者、施設周辺の地域住民と出雲市が協力し、今後、必要な整備や取組みについて検討し、それぞれの施設が担う機能の充実を図ります。将来的には、地域住民によるガイドの育成等も検討します。また、地元企業に対し、運営や維持管理における協力、社内研修等での積極的な利用を働きかけます。

(2) 新エネルギー学習

新エネルギーや環境保全に関する学習について、施設関係者が、既存設備や教材を利用した学習、新規に必要な整備等について検討するとともに、学校教育のカリキュラムの一環としての新エネルギー教育のあり方について検討し、実施につなげます。

(3) 観光事業者等との連携

出雲市観光協会や観光エージェントと協力し、企画開発やPRを行い、観光としての次世代エネルギーパークへの集客を図ります。

2. 整備スケジュール

項目		短期 おおむね 平成 19～22 年	中期 おおむね 平成 23～26 年	長期 おおむね 平成 27～30 年
普及啓発・準備	整備計画の策定	○		
	詳細計画策定	○		
	普及啓発	○		
	運営体制構築	○		
	学習カリキュラム・内容の検討	○		
	観光商品の開発			○
施設・設備整備	新エネルギー設備補助事業申請等	○		
	既存施設に必要な設備の検討・設置	○		
	十六島風車公園（仮）整備		○	
	長川原バイオマス公園（仮）整備		○	
運営・実施	中核施設等での新エネルギー学習の実施			○
	次世代エネルギーパーク観光の実施			○

3. 期待される効果

(1) 地球温暖化防止にむけた市民意識の醸成

各施設を活用し、新エネルギー教育や環境に関する生涯学習をさらに充実させることにより、環境保全に対する市民の意識の醸成、将来の環境保全を担う人材の育成が図られ、継続的な地球温暖化防止への取組みが進展します。

(2) 出雲市の社会的認知度の向上

次世代エネルギーパークの整備を進め、出雲市の新エネルギーへの取組みを全国へ発信することによって、出雲市の社会的認知度をさらに高めることができます。

(3) 新エネルギーをテーマにした誘客と、それに伴う経済への波及効果

全市域での受入れ体制を構築することで、市内への更なる誘客が図られるとともに、各施設周辺の観光拠点への入込み客数の増加や経済波及効果が期待できます。

(4) 地元産業の多角化

新エネルギーをテーマとした産業観光の実現や産業を育成する土壌を形成することで、新たな観光商品の開発、市内事業者による新エネルギー産業への進出等、地元産業の多角化が推進されます。

(5) 新エネルギー・水素関連企業の誘致と新産業の創出

次世代エネルギーパークの整備の実現、新エネルギーに対する市民の意識の醸成により、新しいエネルギーを地域で創造する風土が形成されることが、新エネルギー関連産業や、水素燃料の製造と活用に関する研究機関等の誘致につながります。